

夏瀬の森

だより

令和四年八月二十五日 第九十六号
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

夏祭りを執り行いました

七月十一日の朝、郷の無事と皆様の健康を祈願し、心を込めて祝詞を奏上させました。境内の満開のヒオウギの花も一緒にお祝いをしてくれました。残念ながら宵宮の花火大会は今年も自粛となりました。今年昭和三十九年を記念する花火大会が五十年を迎える記念すべき年であり、開催の可否につきましても期限間際まで悩みましたが、この郷の方々の一のことがあってはならないとの判断です。どうかご理解賜りますようお願いいたします。



夏越大祓式

七月三十一日の夜、輪越し大祓式を執り行いました。夜明けとともに茅を刈り取り、美しく選別をして茅の輪を作りまして。午後八時からの提灯の灯りの下で



大祓式を行いました。氏子の皆さん、お子の皆さん、人型を茅の輪にくぐって有田川に流しました。

いつもなら川風が心地よい境内も、当日は風ひとつない蒸暑い夜でした。たいが心身が清々したくなる大祓式で、た。式典後、参拝者の方々にご自身用の茅の輪を作るため、茅の輪から茅を引抜き、持ち帰る方もあります。神社の明回しに、分けてご用意しました。まじりなく、数なり輪が、かすかに。に



清掃ご奉仕

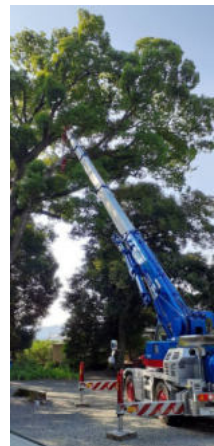
感謝いたします

七月三日、夏祭りを控えて二十四日の敬神婦人会の役員、理事さん方が大掃除をしてくださいました。小雨の蒸し暑い日の雨の蒸し暑いに、もしんどの蒸し暑いに、い声わらざ、奉仕に、がとうございました。満ちる



夏瀬の森のお手入れです

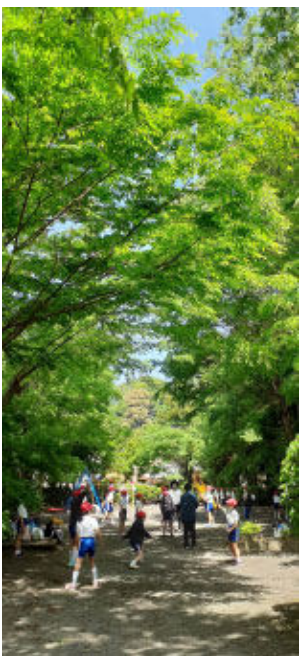
夏瀬の森は、当社も建立当初（千六百年前）森の中に鎮座して、金閣寺の天井板が切り出されたことも、いわれていた。歴史的に価値の非常に高い史跡ですが、古代の有田川の度重なる洪水のため、大部分の森は流失した。夏瀬の森には老木も多いため、伐採せざるを得ない場合も、時には伐採せざるを得ない場合があります。総代様方もお手伝い



下さり、多くの経費が必要な時もあり、参拝者が心を安らげる場所であるように、これからの境内の環境を整えてまいりたいと思っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。



初夏の新緑・花々



春の桜が終わり、初夏の新緑が美しく、黄緑色の光に包まれます。遠くまで響く声や木の葉のざわめき、総代理の環境が守られてい



花も六月になれば紫陽花や夏椿、珍しいところでは花筏（ハナイカダ）が葉の真ん中に小さな花を付けます。花しようぶも昨年より倍近く株を増やすことができました。色々なるものをお守するのは大変な



神社庁功績表彰を受けられました
 矢船勝治様（井口）
 永広正治様（大谷）
 八月七日、令和四年度有田郡市神社総代役員会が田舎丹生神社にて開催された。その中で、神社庁有田支部功績表彰が行われ、田舎丹生神社責任役員矢船勝治様と神具製作のご奉仕を頂いた永広正治様が永年の神社奉仕の功績に対して表彰を受けました。おめでとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



令和四年度の秋祭り

響で二年間の影響を始めた。山車、子ども神輿など、今年も例年通り、六月に降った大雨、各方面に相談を降した。計画を進めてまいりました。状況が悪化して、計画当初と大きく異なりました。八月に入り、再検討を行いました。残念ながら、今年も三鼓と山車並に、子ども神輿や子ども太鼓も自粛せざるを得ないとの結論に達しました。が、来年も引き続き、色々なるものをお受けし、迷惑やご心配をおかけします。ご理解とご協力をお願いします。本年度の秋祭りを改めたいという形です。本年度は、改めたいという形です。本年度は、改めたいという形です。本年度は、改めたいという形です。



ホームページへもお越し下さい

<http://www.tb.biglobe.ne.jp/~tadononyujinjya/>